

2019年度日本計量生物学会年会・チュートリアルのご案内

安藤友紀, 五所正彦, 田栗正隆, 山本英晴 (企画担当理事)

2019年度日本計量生物学会年会を2019年5月16日(木)および5月17日(金)午前に神戸大学医学部会館シスメックスホールにて開催します。また、5月17日(金)午後同一会場にてチュートリアルを実施します(応用統計学会と共催)。年会の一般講演を募集しますので奮ってご参加下さい。本年度も、一般講演として口頭発表とポスター発表を募集いたします。一般講演申込の詳細は下記の年会案内をご参照下さい。

本年会は応用統計学会の後援で実施され、両学会員は本年会、5月17日(金)のチュートリアル、および5月18日(土)開催の応用統計学会年会に、会員価格で参加できます。また、一般講演セッションで発表される学生会員の方には、旅費の補助をいたします。学生会員の方の積極的な発表をお待ちいたします。参加費の詳細は以下をご参照ください。本年会およびチュートリアルの参加につきましては、原則として事前に参加申し込みをしていただきますよう、ご協力のほどお願いいたします。参加および講演申し込みの詳細は、HP <http://www.biometrics.gr.jp/>をご参照ください。

年会・チュートリアルの会場および参加要領

会場

神戸大学医学部会館シスメックスホール
〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町7-5-2

参加費

事前申込:[申し込み期間] 2019年3月18日(月)~4月30日(火)

本学会員	年会 2,500円, チュートリアル 2,500円
応用統計学会員	年会 2,500円, チュートリアル 2,500円
非会員	年会 4,500円, チュートリアル 4,500円
学生(会員, 非会員とも)	年会 1,000円, チュートリアル 1,000円

年会・チュートリアルは一括申込をお願いします

当日申込:

本学会員	年会 3,000円, チュートリアル 3,000円
応用統計学会員	年会 3,000円, チュートリアル 3,000円
非会員	年会 5,000円, チュートリアル 5,000円
学生(会員, 非会員とも)	年会 1,000円, チュートリアル 1,000円

チュートリアル

日時: 2019年5月17日(金) 14:00~17:00 (予定)

テーマ: 関数データ解析

オーガナイザー: 荒木由布子 (静岡大学)

内容: 近年の測定・計測技術の発展に伴い、自然科学・社会科学の幅広い分野において複雑多様な構造を有するデータが測定・観測されるようになってきた。このようなデータの解析手法の中でも特に、時間や空間の経過に伴い変動する測定値・観測値を時間や空間の関数として捉え、その関数集合から効率

的に情報を抽出する統計学的手法は関数データ解析と呼ばれている。関数データ解析は Ramsay and Silverman (1997)に提唱されて以来、サンプリングデザインの柔軟さや平滑化を伴う点から、時系列解析や多変量解析とは似て非なるものとして、理論と応用の両側面からその研究が発展してきた。特に近年では、各種のセンサー機器から観測された IoT データ、脳画像などのイメージデータ、時系列データなど、複雑多様なデータの解析手法として注目を集めており、近年の国際学会では関数データ解析をテーマとしたチュートリアルセッションも多々見受けられる。本チュートリアルでは、近年注目を集めている関数データ解析について、その初歩的な事項と主な手法の紹介、今後の期待について、3名の講師により解説を行う。

講師・内容（予定）：

荒木由布子（静岡大学）

「関数データ解析の基礎（仮）」

Jeng-Min Chiou（Academia Sinica）

「関数データクラスタリング，関数回帰モデル（仮）」

松井秀俊（滋賀大学）：

「関数判別モデルと変数選択（仮）」

2019年度日本計量生物学会年会

日時：2019年5月16日（木）～17日（金）午前

特別セッション：5月16日（木）午後（予定）

セッション名：「がん登録情報を利用した統計解析」

オーガナイザー：伊藤ゆり（大阪医科大学）

趣旨：2016年に開始した全国がん登録制度のデータ活用が始まりつつある。臨床開発や各種臨床疫学研究において、レジストリデータの活用への期待は高まるものの、適用事例はまだ少ない。本セッションでは、がん登録に関する基礎的な知識と国内外における活用事例を概説するとともに、わが国において先駆的にがん登録資料を活用した研究を行ってきた演者から最新の研究成果を提供していただき、わが国における計量生物分野におけるがん登録の活用の展望について、議論する場としたい。

演者・演題（予定）

座長：松田智大（国立がん研究センター／国際がん登録協議会 IACR 理事長），伊藤ゆり

(1) 松田智大，伊藤ゆり

「Overview がん登録の過去・現在・未来（仮）」

(2) 小向翔（大阪大学）

「がん登録データを用いた相対生存やネット生存率の推測法（仮）」

(3) 福井敬佑（大阪医科大学）

「Microsimulation model によるがん死亡率減少効果の推定（仮）」

(4) 森島敏隆（大阪国際がんセンター）

「がん登録と診療情報データとのリンケージデータを用いた臨床疫学研究（仮）」

(5) 総合討論

一般講演の申し込み

一般講演の申し込み

以下の分野毎に演題を募集します。

- A. 臨床試験・臨床研究, B. 臨床診断学, C. 疫学, D. ゲノム・バイオインフォマティクス,
E. 資源・環境・農業, F. 事例研究, G. その他

応募の際には、ご希望される分野名を必ずご指定下さい。分野毎の演題募集には、学会の独自性・特色をより打ち出し、専門性を深めるというねらいがあります。分野毎に、より踏み込んだ活発な議論を期待しております。会員の皆様の積極的なご発表をお願いいたします。

口頭での発表を希望するかポスターでの発表を希望するかを、申し込み時にお申し出ください。希望を最大限尊重いたしますが、プログラム編成の都合上、発表形式の変更をお願いする場合がございますことをご了承ください。

一般講演をされる学生会員の方に、50,000円を上限として旅費の援助をいたします。以下の(5)をご参照ください。

(1) 申し込み方法

2019年度日本計量生物学会年会HPよりお申込みください。HPは開設次第、学会HP <http://www.biometrics.gr.jp/> およびメーリングリストにてご案内申し上げます。

(2) 発表申し込み受付開始 2019年3月6日(水) (予定)

(3) 発表申し込み締め切り 2019年4月3日(水)

(4) 予稿原稿締切 2019年4月12日(金)

ご講演を申し込まれた方には予稿原稿執筆要領をお伝えします。

(5) 学生会員発表者に対する旅費の補助(奨学金)について

本学会では若い皆さんに積極的に研究発表の機会をもつていただくべく、本年会において演題発表を行う「学生会員」のみなさんに旅費の補助を行います。たくさんの学生会員のみなさんの発表をお待ちしています。

○対象者：本人が講演者となって一般講演セッションで演題発表を行う学生会員(口演、ポスターを問いません)

○補助額：一人あたり50,000円を上限として旅費を補助

○応募資格：往復交通費(宿泊費は別)が10,000円以上を要する者原則とする

○申込方法：補助を希望する対象者は年会の講演申込の際にあわせて「旅費等補助希望」と連絡してください。参加申込み・参加費支払いを各自で行っていただき、学会終了後、領収書の提出をもって、補助金額を本人に学会からお支払します。ただし、申込多数の場合にはご希望にそえない場合があります。補助が決定した方には別途事務局より手続き方法について連絡します。

なお、今回の補助は講演申込にあわせて日本計量生物学会に入会申込した学生の方にも適用されます。学生会員の年会費は無料となりますので、周囲で日本計量生物学会に入会していない学生の方にもこの機会に是非入会と発表を勧めてください。

その他

- ・年会期間中に日本計量生物学会総会、学会賞授与式を開催します。
- ・5月18日(土)には応用統計学会年会が本年会と同会場にて開催されます。参加費は正会員、後援学会員3,000円、非会員5,000円、学生(会員、非会員とも)1,000円です。

